【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第４区分
【発行日】令和7年3月28日(2025.3.28)

【国際公開番号】WO2024/019096
【出願番号】特願2024-535119(P2024-535119)
【国際特許分類】
Ｂ３２Ｂ 27/00(2006.01)
Ｂ３２Ｂ 27/30(2006.01)
Ｅ０４Ｆ 13/08(2006.01)
Ｂ３２Ｂ 3/30(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ３２Ｂ 27/00 Ｅ
Ｂ３２Ｂ 27/30 Ａ
Ｅ０４Ｆ 13/08 Ａ
Ｅ０４Ｆ 13/08 Ｅ
Ｂ３２Ｂ 3/30

【手続補正書】
【提出日】令和6年10月9日(2024.10.9)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
原反層と、耐水保護層と、表面保護層とがこの順に積層され、
前記表面保護層には、その表面に、畝状に突出した畝状部を有する凹凸形状が形成され、
前記表面保護層の前記凹凸形状の表面粗さの指標ＲＳｍと表面粗さの指標Ｒａとの比ＲＳｍ／Ｒａは、１０以上３００以下の範囲内であり、
前記表面保護層は、主材料が電離放射線硬化性樹脂であり、
当該電離放射線硬化性樹脂は、主成分が繰り返し構造を含む３官能のアクリル樹脂であり、
前記繰り返し構造の繰り返し回数は、３以上であることを特徴とする化粧シート。
【請求項２】
前記耐水保護層を構成する樹脂成分の主材料は熱硬化性樹脂であり、
当該熱硬化性樹脂は、樹脂成分としてのアクリル樹脂と、硬化成分としてのエポキシ化合物とを含む塗液により形成された架橋構造を有する樹脂を含むことを特徴とする請求項１に記載の化粧シート。
【請求項３】
前記繰り返し構造は、エチレンオキサイド、プロピレンオキサイド、及びε－カプロラクトンの各構造のうちいずれかであることを特徴とする請求項１または請求項２に記載の化粧シート。
【請求項４】
前記表面保護層の厚さは、２μｍ以上２０μｍ以下の範囲内であることを特徴とする請求項１または請求項２に記載の化粧シート。
【請求項５】
前記耐水保護層の厚さは、２μｍ以上１０μｍ以下の範囲内であることを特徴とする請

求項１または請求項２に記載の化粧シート。
【請求項６】
前記表面保護層は、平均粒径が１０μｍ以下の粒子を含むことを特徴とする請求項１または請求項２に記載の化粧シート。
【請求項７】
前記粒子の添加量が、前記電離放射線硬化性樹脂１００質量部に対して、０．５質量部以上１０質量部以下の範囲内であることを特徴とする請求項６に記載の化粧シート。
【請求項８】
前記表面保護層の光沢度は、５．０以下であることを特徴とする請求項１または請求項２に記載の化粧シート。
【請求項９】
前記表面保護層は、コア部と、当該コア部上に形成された前記畝状部とを備え、
前記畝状部の層厚と前記コア部の層厚との比率（畝状部の層厚／コア部の層厚）は、０．０１以上２．０以下の範囲内であることを特徴とする請求項１または請求項２に記載の化粧シート。
【請求項１０】
前記畝状部の層厚と前記コア部の層厚との比率（畝状部の層厚／コア部の層厚）は、０．１以上１．０以下の範囲内であることを特徴とする請求項９に記載の化粧シート。
【請求項１１】
前記表面保護層の前記凹凸形状の前記比ＲＳｍ／Ｒａは、８０以上１５０以下の範囲内であることを特徴とする請求項１または請求項２に記載の化粧シート。
【請求項１２】
前記畝状部の前記表面保護層の厚さ方向における断面形状は、正弦波形状であることを特徴とする請求項１または請求項２に記載の化粧シート。
【請求項１３】
前記３官能のアクリル樹脂は、グリセリントリアクリレート、イソシアヌレートトリアクリレート、またはペンタエリスリトールトリアクリレートで構成された樹脂であることを特徴とする請求項１または請求項２に記載の化粧シート。
【請求項１４】
請求項１または請求項２に記載の化粧シートの製造方法であって、
塗布された電離放射線硬化性樹脂の表面に対して、波長２００ｎｍ以下の光を照射した後に、電離放射線、または前記波長２００ｎｍ以下の光よりも波長が長いＵＶ光を照射することで、
畝状に突出した畝状部を有する表面保護層を形成することを特徴とする化粧シートの製造方法。
【請求項１５】
前記波長２００ｎｍ以下の光は、波長１７２ｎｍであることを特徴とする請求項１４に記載の化粧シートの製造方法。
【請求項１６】
前記電離放射線硬化性樹脂の表面に対して、波長２００ｎｍ以下の光を照射した後に、電離放射線、または前記波長２００ｎｍ以下の光よりも波長が長いＵＶ光を１回照射することのみで、
前記畝状部を有する前記表面保護層を形成し、
前記波長２００ｎｍ以下の光の積算光量を０．１５ｍＪ／ｃｍ^{2}以上２００ｍＪ／ｃｍ^{2}以下の範囲内とすることを特徴とする請求項１４に記載の化粧シートの製造方法。
【請求項１７】
前記波長２００ｎｍ以下の光よりも波長が長いＵＶ光の積算光量を１０ｍＪ／ｃｍ^{2}以上５００ｍＪ／ｃｍ^{2}以下の範囲内とすることを特徴とする請求項１６に記載の化粧シートの製造方法。
【請求項１８】

塗布された電離放射線硬化性樹脂の表面に対して、波長２００ｎｍ以下の光を照射した後に、前記電離放射線のみを照射することで、
前記畝状に突出した畝状部を有する表面保護層を形成することを特徴とする請求項１４に記載の化粧シートの製造方法。
【請求項１９】
前記電離放射線硬化性樹脂の粘度範囲が１０ｍＰａ・ｓ以上５００ｍＰａ・ｓ以下であることを特徴とする請求項１４に記載の化粧シートの製造方法。